

【質疑応答】	
質問者① 工事完成後の騒音、振動の変化について	
(質問)	貨物列車が通過するときは結構な騒音振動があるが、工事が終わって運用開始した後の騒音振動は今と比べてどうなるのか。
(回答)	当事業は環境影響評価を行っており、工事完成後の騒音及び振動の変化についても事前に予測を行っています。事前予測では、レールをロングレールにして継ぎ目をなくし、PC弾性枕木（コンクリート製の枕木）と一体化させる構造とすることで、現在よりも騒音振動が改善されるという結果が出ています。
質問者② 工事損害調査、工事工程について	
(質問)	工事損害調査（事前調査：工事前の現況調査）はいつ頃始めるのか。平日昼間は不在であるため、土日でも調査してもらえるのか。
(回答)	これから専門の調査会社に事前調査を発注します。3月中旬から下旬頃にかけて皆様へ調査会社が決まったことをご連絡させていただき、その後に調査日の日程調整をさせていただきます。土日でも調査することは可能ですので、日程調整の際にご相談下さい。
(質問)	調査は4月になる可能性もあるのか。
(回答)	調査する部屋数が多いので4月になる可能性もあります。
(質問)	基礎杭や矢板の施工はいつ頃から始まり、どのくらいの期間かかるのか。
(回答)	本工区についてはJ R四国が入札手続きを行っているところで、まだ工事請負業者が決まっていないため、基礎杭等の施工にかかる具体的な工事工程をお示しすることはできません。工事請負業者が決まれば2ヶ月程度後に工事着手されると思われませんが、工事着手までには工事工程等がわかる資料を作成しお知らせいたします。
質問者③ 地下水への影響について	
(質問)	基礎杭や矢板の施工により地下水の流れが変わるのではないかと。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでに実施した調査によると、この付近の地下水は概ね東から西に流れていること、地下水の水位は地表から3～5mの深さで推移していることがわかっています。 ・ 今回工事で施工する高架橋の地中構造物は地盤から約3m以浅と浅く、基礎杭はピンポイントの柱状であることから、環境影響評価の事前予測では、地下水流への影響は小さいと評価されています。 ・ 高架橋の地中部を施工するための矢板の設置範囲についても、高架橋毎に分割することで地下水の流れを大きく遮断するような構造となっておらず、矢板で締め切った内部の掘削深さも最大で3m程度であることから、環境影響評価の事前予測では、地下水位に与える影響は小さいと評価されています。 ・ なお、地下水の水位、水質は5年程前から継続的に観測しており、工事中にも観測を行いますが、これらに急激な変化が見られる場合には、工事を中止し原因を確認することとしています。

<p>(質問) このマンションの駐車場の地下には地下水の通り道があると思われるが、工事の影響で地下水の流れが変わり駐車場が陥没するなど、住居以外に変状があった場合はどうなるのか。</p> <p>(回答) 事前調査は、住居だけでなく、駐車場の工作物や地盤高さも確認することとしており、事後調査（工事後の状況調査）で変状が確認され、それが工事の影響によるものと認められれば補償の対象となります。</p>
<p>質問者④ 高架橋ができる位置について</p>
<p>(質問) 高架橋は現在の線路の真上にできるのか。</p> <p>(回答) 現在の線路の西側を用地買収して高架橋と西側側道を整備し、列車の走行場所を高架橋に切替えた後、現在の線路を撤去してその場所に東側側道を整備します。</p>
<p>質問者⑤ 側道について</p>
<p>(質問) 側道には歩道が設置されるのか。</p> <p>(回答) 側道は総幅員 6 m（車道幅 4 m、その両側に路肩 1 m）となりますが、歩道は設置しません。歩行者や自転車は路肩部分を通行していただくこととなります。</p>
<p>質問者⑥ 通学路の安全対策について</p>
<p>(質問) 辻踏切のある市道味酒 7 号線は味酒小学校の通学路になっており、児童は辻踏切を東西方向に登下校している。工事中の工事車両や側道完成後の一般交通で危険が伴うと思われるので安全配慮をお願いします。</p> <p>(回答) これまでも周辺の小中学校を訪問し、工事中の対応等について説明させていただいています。今後も引き続き、きめ細かな情報提供に努めるとともに、小中学校と連携して安全確保に努めてまいります。</p>